

【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

橋本総業ホールディングス株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、橋本総業ホールディングス株式会社（代表取締役社長：橋本 政昭）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）と弊行が作成した基準に基づき、ESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（※2）（持続可能な開発目標）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例等を還元させていただく融資商品です。

今回対象となりました橋本総業ホールディングス株式会社は、環境側面（E）、社会側面（S）およびガバナンス側面（G）の各項目について一定の取組と情報開示を実施されていると判断され、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESGおよびSDGs達成に向けた取組では、以下の内容が高く評価されました。

E：「カーボンニュートラルへの挑戦」を掲げ、再生可能エネルギーの活用や、営業車両の電動化、ZEH等省エネに資する製品販売を推進していること。自らRE100達成に向けて太陽光発電設備の設置を進め、顧客には第三者所有型モデルの提案を積極化していること。環境方針やマネジメントシステムについて、主要子会社で開示していること。

S：労働安全衛生規程やメンタルヘルス不調者対応方針を策定し、在宅勤務を可能とするためシステムを整備する等、安全で柔軟な職場環境づくりに取り組んでおられること。有給休暇の取得状況や社会貢献活動について、主要子会社で開示していること。

G：「人と企業と社会のサステナビリティに向けて」との方針を明確にし、これまでの取組項目をまとめていること。ミッションとして「快適な暮らし」の追求を分かりやすく開示していること。

SDGs：持続可能な社会の実現に向けた具体的な取組として、再エネや省エネに資する製品を取り扱い（インプット）、その普及（アウトプット）を通じてカーボンニュートラルを実現（アウトカム）し、SDGsが示す「目標7」「目標9」等の達成に貢献していること。

三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。